


# 京都教区時報

<https://www.kyoto-catholic.net/>

カトリック京都司教区  
 広報委員会  
 京都市中京区  
 河原町通三条上る  
 TEL 075-211-3025  
 FAX 075-211-3041  
 honbu@kyoto.catholic.jp

2024年 司教年頭書簡  
 わたしのシノダリティを創ろうII  
 シノドスがめざす〈道〉と〈宿〉の宣教  
 を受けて



## 第1回 対話型の宣教イメージ〈道〉と〈宿〉

大塚司教は年頭書簡で、教皇フランシスコの回勅『兄弟の皆さん』を思い起こしながら「善きサマリヤ人のたとえ」(ルカ10・25-37)を解説します。「私はこのたとえにある〈道〉と〈宿〉に注目し、宣教の原点を探りたいと思います」「〈道〉はサマリヤ人にとって予期せぬ出来事や出会いの場となり」「宣教の観点からすると〈道〉は神の計画や恵みに出会う場所」であると司教は説かれます。

この箇所を読んで、私は数年前に体験したことを思い出しました。

メキシコシティに住んでいたとき、街の中心部に行かなければならない大事な用事ができました。余裕をみて出たのですが渋滞に巻き込まれてしまい、約束時間に間に合いそうになくなって、イライラし始めたたちょうどその時でした。現地ではよくある光景なのですが、男が車のガラスを拭く素振りをして近寄ってきました。私は明確に断ったのですが、勝手に作業を始めてしまったのです。それで正直に話しますが、その時カッとなくて感情を爆発させ大声で怒鳴ってしまったのです。そしてお金も支払わずに車を発進させまし

た。窓には石鹸の泡が残ったままでしたし、自分の中の怒りはブクブクと膨らむ一方だったのです。少し前進して別の交差点で停まると、またもや別のガラス拭きが寄って来ました。私は「お前の仲間はこの状態にした。もうガラス拭きなんていらぬ！」と、きつい言葉を投げつけました。



なのに、彼は黙って拭き始め隅々まで美しくしていきます。私はまだ怒っていましたが、仕方なく支払うコインを準備しました。作業が終わったのでお金を渡そうとすると、彼は「そんなに怒らないでくれよ。なあ、金は要らないから仲間をゆるしてくれ。そうしたら俺はお金以上のお恵みをいただける」と言いながら車から離れて行きました。その時、まさに「これは神様からのお声だ！」と感じました。怒りは一瞬にして消え去り、何とも情けなく恥ずかしい思いと、父親からゴッソとげんこつをもらって痛いような、でもなぜか嬉しいような心の温もりも感じたのでした。

神様は〈道〉でお声をかけてくださった。まったく予期せぬ時に予期せぬ出来事です。

滋賀ブロック担当司教  
 グアダルペ宣教会

エミリオフオルトゥール神父



大塚司教と一緒に  
「セニョル・デ・ロス・ミラグロス」  
の祝い



ペルーの祭り

昨年10月第4土曜日、定例のスペイン語ミサの日に「セニョル・デ・ロス・ミラグロス」の行列、ごミサとパーティーを行うことができました。私が所属している三重県伊賀市の幼きイエス上野教会では、2000年代に入ってから故郷の祭り（ブラジル人の場合は「アパレシダの聖母」の祝い）を始め、約20年間に渡って祝い続けてきました。

奇跡の主

この祭りは17世紀に始まり、数々



の奇跡を起こした壁画が「セニョル・デ・ロス・ミラグロス、日本語では奇跡の主」と名付けられました。ペルー人が移住先にも携えて行く信仰行事であるため、現在は世界中で祝われています。「奇跡の主」は海外に移住しているペルー人の保護者でもあります。

**初めて大塚司教様と一緒に**  
現在は日本各地で「奇跡の主の祭り」が実施されています。私たちの祭りはこじんまりしていて、行列で運ぶ台やご絵は手作り、パーティーも持ち寄り、一つの大きな家族で祝っているようです。

今回は初めて、大塚司教様にご参加くださり、一緒に祝うことができました。司教様も一緒に食べ、一緒に笑い、集まっていた多国籍の信者たちと交流してくださいました。

毎日「命」という奇跡を与えてくださっている「奇跡の主」の愛を広め、日本をはじめ他の国籍の信者と信仰を分かち合い、宣教できるように続けて祈り、活動



していきたいと思えます。

三重南部ブロック上野教会信徒

オチャンテ村井 ロサメルセデス

セニョル・デ・ロス・ミラグロスについて

スペインの植民地だった1651年、現在のペルーの首都リマの貧しい人々が住んでいた地域で、敬虔な黒人奴隷がレンガの壁に磔にされたキリスト像を描いた。1655年の大地震でリマ周辺は大きな被害を受けたが、この絵が描かれた壁は崩れなかった。その後、この絵に屋根や飾りをつけて熱心に祈っていた人の病気が奇跡的に治ったり、1687年に起こった大地震でもこの壁が無傷だったりと、いくつもの奇跡が起こった。この絵は「セニョル・デ・ロス・ミラグロス（奇跡の主）」と呼ばれるようになり、同じ聖画像を描き、神輿をかついで奇跡をたたえる聖行列が毎年10月に行われる。聖行列に信徒たちは主キリストのご受難にちなんで、青みがかった紫色の衣に身を包んで参加する。現在では世界各地で、そこに住むペルー人を中心に行われている。

文責・広報委員会

## 滞日外国人と共に福音宣教を



サイクルテーマ③社会への福音宣教 ～滞日外国人から学ぶ～

小教区評議会役員交流会 2023年10月7日⊕ 開催

秋の小教区評議会役員交流会が、28の小教区役員36名、司祭・司牧者6名が参加してオンラインで行われた。この交流会は、日頃話す機会の少ない他のブロック、小教区の役員同士がグループで分かち合い、交流を深めることを目的として開催している。

### 分かち合いの導入

オチャンテ 村井 ロサメルセデス氏（上野教会役員・桃山学院教育大学教育学部准教授）が、滞日外国人信徒の現状、彼らが日本社会の中でアイデンティティを確認する手段として、母国のまつりを大切にしていること、社会への福音宣教のヒントとして、使徒言行録2章42節から46節を引用し、彼らが「皆一つになって…心一つにして…喜びと真心をもって一緒に食事」をしている姿を紹介した。また、日本の教会のよいところは、共同体への所属意識、「私の教会、私のブロック」という意識が高いところだと述べた。

### 小グループの分かち合い

「移住者との交流から学んだこと」「コロナで失った3年を取り戻すために今できること」「日本で育った移民第2世代の子どもたちの信仰教育」をテーマに約1時間、熱意のこもった分かち合いが行われた。

### 大塚司教コメント

小教区によっては外国籍信徒の代表としての役員がいなければ、意見の集約が難しくなっている。日本人役員の想像や憶測だけで教会の活動を進めるのではなく、当事者や、言葉の関係で直接意見を聴けないグループの現状や思い、望みを汲み取り、何かを『してあげる』のではなく、一緒に何ができるのかを考えてほしい。言語、文化を越えて共通の信仰があり、それを確かめ合うことはユニバーサルなカトリック的体験であり、これが普遍教会であると思う。目に見えて点在する教会が、目に見えない普遍教会の具現化である。コロナ禍を体験し、新しい歩みを始めた私たちは今、グローバルな移民という時のしるしをみて、社会に派遣され、滞日外国人に出会い、ともに福音宣教に取り組んでいるのだ。

福音宣教企画室

## 人権とは？

いのち・平和・環境委員会主催 オンライン講演会

2023年11月11日⊕ 開催

『人権とは何か』というテーマで、奥村豊神父のお話を伺いました。世界人権宣言、日本国憲法、そして教会の社会教説をもとに、人権の基本について確認しました。特に印象に残った言葉を取り上げてみたいと思います。

・「すべての人間は、生れながらにして自由であり、かつ、尊厳と権利とについて平等である（世界人権宣言 第一条）。

「すべて人は、生命、自由及び身体の安全に対する権利を有する（同 第三条）。

今の日本において、当然と思われていることが守られていなかった現実がある。また現在、守られているのだろうか。

・「教会は人間のために存在するので（教会の社会教説要綱 No.106）」。

今回の講話は、人権に関する基本について確認するとともに、自分の幸せだけ、教会という小さな社会だけに留まらず、世界に、そして自分の身の回りに目を向ける呼びかけでもあったと思います。



いのち・平和・環境委員会 鶴山進栄神父



## 教区行事のひとコマ



衣笠墓苑物故者及び死者祈念ミサ

2023年11月5日(土) 衣笠教会



死者の月。大塚司教の司式で、教区内のすべての物故者のために祈りが捧げられた。

司教座聖堂献堂記念日(12/3) ミサ

2023年12月2日(土) 河原町教会



司教座聖堂献堂記念日ミサが、京都教区の司教座聖堂である河原町教会において、大塚司教の司式で行われた。河原町教会は、聖フランシスコ・ザビエルに捧げられた聖堂で、ザビエルの祝日が献堂記念日と定められている。

第24回 京都司教区 宣教司牧評議会

2023年12月9日(土) オンラインミーティング



大塚司教をはじめ、ブロック担当司祭、小教区評議会役員、各委員会の担当者が出席し、一年の振り返りや次年度に向けた活動について、分かち合い、話し合った。司教から2024年の司教年頭書簡「わたしのシノダリティを創ろうⅡシノドスがめざす〈道〉と〈宿〉の宣教」が発表された。

資料は京都教区HPから閲覧可能。



## Y E S 2023開催

2023年11月25日(土)～26日(日)

今回も無事にY E S 2023を開催することができました。

Y E S (イエス)とは、京都教区の青年の集いです。Y E Sには以下のような意味が込められています。「Y」…Youth、「E」…Enjoy, Encounter, Exchangeなど、「S」…Space 2002年から毎年開催している集いです。ここ数年、対面で行えない時にはオンラインで、宿泊ができなくても日帰りで、開催を続けてきました。そして今年、やっと泊まりでの開催となりました。

今回のテーマは「シノドス」。大塚司教様はY E Sに毎年来てくださり、今年も講話をしてくださいました。2日間を終えた青年たちの振り返りをご紹介します。

- ・満たされた2日間だった。
- ・人との交わりを大切にしたい。
- ・排他的にならないようにしたい。
- ・分かち合いが大変良かった。
- ・神様のはたらきを感じた。
- ・京都教区の行事として、YESを大切にしたい。
- ・できるだけ自分から人とのつながりを大切にしたい。
- ・人の話を聞くことも大切だが、話すことも大切だと思った。
- ・悩みながらも、人と交わる中で、自分のことを知っていただけたらいい。
- ・今日来たみんなとのつながりを大事にしたい。

久しぶりにゆっくり仲間と分かち合いができ、大変充実した時間となりました。青年センターでは、つながれる仲間をもっと増やしたいと思っています。この記事を読んだ教会の方、ぜひ近くの青年に青年センターのことをご紹介ください。また、この記事を読んだ青年のあなた、ぜひつながりませんか？

最後に、今回のY E S開催にあたり、快く場所をお貸しくださった学校法人聖母女学院様、ありがとうございました。

運営委員／河原町教会 のん



つながりネットワーク 認めようコミュニケーション

## 京都カトリック青年センター

青年センターは、教区を越える青少年活動について  
京都教区の恵顧とするとともに、京都教区内の各教会、  
青年の各種活動をバックアップするための機関です。



← 青年センターのHPも  
見てね！

青年センターあんでな

## お知らせ

## 司 教

## 大塚司教の予定

最新の情報は京都司教区のホームページにてご確認ください。

## 教 区

## 村上透磨神父1年祭ミサ

日 時：2月18日⑧ 10:30  
場 所：河原町教会



## 第46回ネットワークミーティング(NWM)京都

日 程：2月10日④ 13:30開会 (13:00受付開始)  
～11日⑧ 12:00閉会

場 所：京都聖母学院キャンパス内

参加費：5,000円

テーマ：「改めまして、わたくし…」

対 象：18～35歳の全国の青年 (高校生不可)

主 催：第46回NWM in 京都実行委員会

問合せ：nwm.in.kyoto@gmail.com

## 広報委員会

教区時報4月号の原稿締切日は2月26日⑧です。

皆さまのまわりに点訳版「京都教区時報」が必要な方がおられないでしょうか。点訳版「京都教区時報」をご希望の方がおられましたら、カ障連大阪フレンドリー点字部・笠松幸彦さんまでお申込みください。無料でお送りします。  
Tel・Fax/072-722-0271

2024年 青少年委員会担当司祭  
任命のお知らせ 1月1日付

京都カトリック青年センター

ソ・ウォンハ 小立花 忠

中学生会

菅原友明 ホン・ユンハク

ソ・ウォンハ M.ブルース

中学生広島巡礼

ホン・ユンハク ソ・ウォンハ

M.ブルース

高校生会

小立花 忠 ホセ・アントニオ C.

G.ランディ M.G.ホルヘ

アジア体験学習

G.ランディ ホセ・アントニオ C.

菅原友明

## 修 道 会

## 聖ドミニコ女子修道会

## 青年の集い

日 時：2月23日④⑤ 11:00～16:00(受付10:30～)

場 所：聖ドミニコ女子修道会京都修道院

京都市上京区河原町今出川下ル梶井町448

TEL：075-231-2017 (修道院)

テーマ：ワールドユースデーリスボン大会の  
思い出とその後

講 師：ホルヘ神父 (グアダルペ宣教会)

対 象：青年男女 (18～40歳)

参加費：500円 (昼食弁当有)

申 込：高橋幸子 080-1225-0705

mariepotakahashi@gmail.com

申込締切：2月21日④

## 諸 団 体

## 京都カトリック混声合唱団

2月11日⑧ 14:00 聖歌練習

2月24日④ 17:30 練習後、ミサ奉仕

場 所：河原町教会聖堂

問合せ：075-951-4283 則武 隆

## コーロ・チェルステ (女声コーラス)

練 習：2月8日④ 10:00 22日④ 10:00

場 所：河原町教会2階楽廊

問合せ：075-561-5971 駒井和子

## 聴覚障がい者の会・京都グループ

## 手話ミサと総会

日 時：2月20日④ 10:30 から受付、

11:00 手話ミサ、12:00～昼食後総会、

交流会、14:00 終了予定

場 所：河原町教会地下都の聖母小聖堂および

ヴィリオンホール

参加費：1000円 (昼食代込)、飲み物は持参

要申し込み

申込・問合せ：Tel・Fax：075-723-1135 傳 裕子

## 心のともしび

ラジオ番組案内 (全国34局で放送)

K B S 京都 ①～④ 朝 5:55

⑤ 朝 5:15

ラジオ関西 ①～④ 朝 5:00

⑤ 朝 6:05

毎日放送 ①～④ 朝 5:45

⑤ 朝 4:55

2月のテーマ「安らぎ」

